

- 2 子ども会で心を豊かに
- 3 街の話題/コラム
- 4・5 特集 戦争の記憶をつなぐ
沖縄戦の体験をたどる
- 6 お知らせ
- 7 第72回あつぎ鮎まつり



糸満市
 沖縄本島の最南端に位置し、「海人(漁師)のまち」ともいわれる
 面積 46.63平方キ。 人口 6万1453人
 ※5月末現在

1 びび 美々ビーチ



沖縄県糸満市と友好都市締結 新たに育む友好の絆

「沖縄の紺碧の空のような、深く澄んだお付き合いを続けたい」。5月、小林常良市長が沖縄県糸満市を訪れ、上原昭糸満市長と友好都市締結に向けた覚書を交わしました。8月4日の「あつぎ鮎まつり」には、糸満市交流訪問団が厚木市を訪れ、正式に友好都市を締結。新たな友好の輪が広がります。

沖縄戦終焉の地として知られている糸満市には、戦争の記憶を伝える場所が多くあります(4・5面に関連記事あり)。今後は、小・中学生訪問団の交流などを通して、戦争の悲惨さを学んでもらう平和学習に力を入れていきます。また、アミューあつぎの「厚木市まるごとショップあつまる」で糸満市をはじめとする沖縄県の特産品を販売するなど、文化や農業、産業、スポーツといった多岐にわたる交流で、両市の絆を深めていきます。 企画政策課 ☎225-2050



2 覚書締結式



6 平和祈念公園



3 糸満大綱引き



4 旧盆エイサー



5 サトウキビ畑



7 糸満ハーレー

memo ① 温暖な気候で1年中マリンスポーツなどの観光客でにぎわう ② 5月に糸満市で開かれた両市の友好都市覚書締結式(左から3番目が上原糸満市長) ③ 毎年旧暦8月の十五夜に五穀豊穡、商売繁盛を願って全長約180m・重さ約10tの大綱を引き合う ④ 先祖をあの世からお迎えする沖縄の旧盆の風物詩 ⑤ 糸満市では毎年3万t近くのスアウキビが収穫される ⑥ 沖縄戦没者の名が刻まれる平和祈念公園の「平和の礎」の中央には「平和の火」がともる ⑦ 爬竜船をこぎ競い合うことで航海の安全や豊漁を祈願する
 ※写真は全て糸満市提供

- 厚木市の友好都市**
- 🇺🇸 米国・ニューブリテン市
 - 🇨🇳 中国・揚州市
 - 🇰🇷 韓国・軍浦市
 - 🇯🇵 秋田県・横手市、北海道・網走市

Zoom Up

遊んで学ぶ思いやり 子ども会で心を豊かに

子ども会は、小学生が地域の中で遊びや文化活動を通じてコミュニケーション能力などを育む場所です。幅広い年代の子どもたちが大人と一緒に活動する中で、家庭や学校ではできない経験を積み成長していきます。会の活動に参加してみませんか。

子ども会は、地域の中で子どもを育てるため、1962年に発足しました。当時はほとんどの子どもが参加していましたが、現在の加入率は25%に低下しています。会は、家庭や学校とは異なる環境で、保護者や地域の中学・高校生、住民の皆さんと関わり成長できる貴重な場所です。市内では、2920人の子どもたちが加入し、祭りやイベントなどで生き生きと活動しています。

世代を超えた触れ合い

会は、おおむね自治会単位で組織さ

れています。市内には83の単位子ども会があり、クリスマス会やラジオ体操などの行事(下欄参照)を実施。地域の運動会や清掃などへの参加も大切な活動の一つです。会のイベントは、子どもたちが中心となって運営し、保護者などはサポートに当たります。ゲームやスポーツで交流する「しんぜん大会」では、「インリーダー」と呼ばれる先導的な立場の上級生でルール設定や説明などの役割を分担し、大会を進める。大人たちは、見守りながら仲間の一員としてゲームなどに参加します。小学1年生の時に加入した山口実桜

さん(12・小野)は「人前に立つのは苦手だったけれど、会に入って学年が上がると、まとめる立場になることが増えた。みんなから頼りにされるとうれしい」とはにかみます。「異なる年齢の人たちと人間関係を築くと、自分と違う価値観を受け入れる姿勢や、他人への思いやりが生まれる」と話すのは発達心理学に詳しい亀井美弥子さん。「年上に憧れや感謝の気持ちを持つと、自分がその歳になったとき、同じように優しく接することができる。会は、社会性や協調性を育む経験ができる場所」と、会に入っ



あつぎ 元気Wave
ケーブルTV 8/1~
子ども会の様子を紹介

レクリエーションで遊びながら学年を超えた絆が生まれる



子どもが成長する 身近なお手本として

湘北短期大学保育学科 准教授
亀井 美弥子さん (46)

子どもが社会の一員として成長していくのに、「大人」のお手本の存在は不可欠です。子ども会のような地域に根差したコミュニティは、親以外の大人と触れ合えるだけでなく、普段家庭での姿しか見えない親の「近所のおじさん、おばさん」としての顔を知ることにもなります。社会での振る舞い方を学ぶのは、大人になった自分を思い描く上で大切な経験です。会への参加はその貴重な機会となります。

市の子ども会は「あの子も、この子も、みんなの子」を合言葉に活動しています。子どもたちは、地域の未来を担う大切な存在です。多くの人と関わる貴重な経験ができる子ども会活動に、参加してみませんか。

介護保険が変わります



金額や控除の考え方が変わりました。詳しくは☎を確認してください。

負担割合と 限度額

- ▼所得の高い方の利用者負担割合が2割から**3割**に変更(8月~)
- ▼高額医療・高額介護合算制度で一部の限度額が変更(8月~)

☎介護福祉課☎225-2240

合計所得金額の 算定

高額介護などの基準となる「合計所得金額」が、土地や建物などを売った際に受けられる**控除(特別控除)を受ける前の金額から、控除を受けた後の金額**に変わります。また、非課税者は「公的年金に係る雑所得」を控除した金額に変わります。

地域の絆も深まる

幅広い年代と関わる効果を話します。

会の活動は、子どもの成長だけでなく、見守る大人同士の結び付きも強めています。6年生の息子と参加している清水麻衣子さん(42・岡田)は「子ども会に入っ、他の学年の親同士のつながりができた。地域の中で子どもの顔を知っている大人が多くなれば、見守るまなざしも増えて安心。自分も他の子を気に掛けるようになった」と話します。会の活動を通して、子どもと一緒に行事などの活動に参加することは、地域住民の絆を深めるきっかけにもなっています。

… 年間スケジュール(一例) …

子どもだけでなく大人も楽しめるイベントを開催。地域ごとに行事内容が異なります。

5月 アスレチック体験会

7月 しんぜん大会
(単位子ども会
交流会)
芸術鑑賞会
盆踊り大会
ラジオ体操



季節の行事をみんなで楽しむ

10月 球技大会

12月 クリスマス会

3月 歓送迎会

通年 ごみ拾い
自治会清掃への参加
インリーダー会議
ソフトボール・ドッジボールの練習 など



中学・高校生との共同作業

…… 入会するには? ……

入会したい、詳しく話を聞きたいなど、お問い合わせは市子ども会事務局へ。

☎市子ども会事務局☎221-1110

利用者が150万人を突破

あつぎ市民交流プラザで記念式典を開催



150万人目選ばれ喜びサークルの皆さん

施設は、「アミューあつぎ」の開館に合わせて2014年5月にオープン。市が運営し、会議室や音楽スタジオ、ギャラリーなどの貸館をしています。150万人目の利用者となったサークルの代表・田村明子さん(74)は「150万人目選ばれて記念になった」と喜んでいました。

7月3日に、市の文化芸術や生涯学習などの拠点施設「あつぎ市民交流プラザ」の貸館利用者が、150万人に達しました。施設では達成を祝うセレモニーが開かれ、150万人目の利用者となった太極拳サークル「さがみ」のメンバーに、小林市長から認定書や市内産の花束などが贈られました。

市民23人がまちづくりを議論

市民討議会を開催

市民の皆さんがまちづくりについて議論する「厚木ハッピーボイス2018」が、7月1日にあつぎ市民交流プラザで開催されました。



一人一人の意見をグループごとにまとめた

この日は20～60歳代の市民23人が参加。「発見!厚木のいいところ」魅力ある観光地となるために、「あつぎの未来予想図」の二つのテーマで討議しました。参加者は5グループに分かれ、「空き家を活用してはどうか」「道の駅があったら良いな」といった具体的な意見を出し合っていました。

討議結果は報告書にまとめられ、小林市長へ提出。今後のまちづくりに反映させていただきます。



キュウリのお星さまに笑顔

市立保育所で七夕給食を提供

七夕に合わせて、市立保育所で星やハート型のキュウリを使った給食が振る舞われました。園児たちは「かわい」「おもしろい」など声を上げながら、うれしそうに地元産の野菜を頬張っていました。給食は、子どもたちに地元産の野菜に興味を持ってもらうため、市が農業協同組合と協力して企画したものです。キュウリは、輪切りにすると星やハートの形になる。相川保育所では、全クラスに地元産のトマトと合わせて「七夕そうめん」を提供。特別給食の効果について、献立を作る同市保育課の管理栄養士・實地戸直美さん(43)は「野菜などに興味を持つとよく食べてくれて、食べ残しも減る」と話していました。



特別メニューの給食で季節の行事を体験

全国に響いた美しい音色

ハーモニカコンテストの優勝チームが市長を表敬

結成17年目を迎えるグループは、13回にわたりコンテストに参加してきました。これまでの最高順位は昨年の3位。経験を糧に今年は「星条旗よ永遠なれ」を演奏し、悲願の初優勝を果たしました。代表の藤原尊子さん(57)は「何年もチャレンジし続けられたのは仲間のおかげ。家族や友人の応援も力になった」と笑顔で話していました。



さらなる飛躍を誓ったメンバーたち

6月に開催された国内最大級のハーモニカの大会「第38回F.I.H.ハーモニカコンテスト」のアンサンブル・大編成部門で優勝した「吹夢Z」のメンバーが市役所を訪れ、小林市長に結果を報告しました。

アツギ X NEW ZEALAND HOST TOWN COMMUNICATION 「あつぎNZフェア」を開催



あつぎ鮎まつりでNZの食を満喫

NZの食文化を多くの人に知ってもらうため、今年も「あつぎ鮎まつり」で「あつぎ NZフェア」を開催します。今年はレンブラントホテル厚木に会場を移し、NZを代表する食べ物「ラムチョップ」をはじめ、現地のドリンクや菓子などを販売。市ホストタウン交流事業のPRブースも設置され、NZの文化やスポーツなどに間近で触れることができるイベントです。

会場では、新たに友好都市を締結する糸満市などの物産展も開催。皆さんぜひお越しください。

- 日時 8月4日、12～19時
5日、10～16時
- 場所 レンブラントホテル厚木

毎年好評のラムチョップ

2020年東京オリンピック・パラリンピック(東京五輪)に向けて、ホストタウン相手国となったニュージーランドとの交流事業などを紹介します。

ひとまち 元気

市長 小林 恭良



かりゆしウェアを着て執務

はいさい(こんにちは)。沖縄県糸満市との友好都市の締結が、いよいよ間近(8月4日)に迫ってきました。

新たな友好都市検討委員会での審議を経て、糸満市に私たちの思いを伝えたのがおよそ4年前。少し時間を必要としましたが、熟慮の末に選んでいただけたことを大変うれしく思っています。

13年ぶりの友好都市誕生に向けた構築を目指してまいります。

機運を高めていくため、6月からは市職員に「かりゆしウェア」を加えました。「かりゆし」は沖縄の方言で「めでたい」の意。沖縄産で、沖縄らしいデザインをあしらった物と定義され、夏の正装として定着しているそうです。

糸満市の戦跡

沖縄戦終焉の地である糸満市には多くの戦跡があります。6月23日の「慰霊の日」には、多くの方が犠牲者に祈りをささげています。



ひめゆりの塔

看護要員として動員され命を落としたひめゆり学徒隊の慰霊塔。隣には資料館もある



平和の礎

太平洋戦争・沖縄戦終結50周年を記念して戦没者全員の氏名を刻んだ記念碑



多くの住民らが避難し600人ほどが助かったが、悲惨な出来事もあったといわれる

戦後、沖縄県で最初に建てられた慰霊塔。約3万5千人の犠牲者が祭られている



藤塚中2年 堀口 颯真さん

悲劇を二度と繰り返さないように

昨年、市の交流事業で糸満市を訪れるまで、戦争は自分には遠い話だと思っていました。ひめゆりの塔などを訪ね、戦争を体験された方のお話も聞きました。今の私たちには考えられないほど衝撃的で、とても切なく恐ろしい話でした。この経験を通じて、戦争の悲劇は二度と繰り返してはいけなくと強く感じました。

沖縄戦の経緯

→ 米軍の進行ライン



平良さんは沖縄県北部の大宜味村で、両親や5人の兄弟と暮らしていた。出動命令が下ったのは、1945年3月。米軍が沖縄に上陸する一カ月前のことだった。...

平良さんは沖縄県北部の大宜味村で、両親や5人の兄弟と暮らしていた。出動命令が下ったのは、1945年3月。米軍が沖縄に上陸する一カ月前のことだった。...

役場に集められた平良さんたちは、日本兵に連れられ配属地の恩納村に向かった。「お国のために」が当たり前の時代。両親は何も言わずわが子を送り出した。...

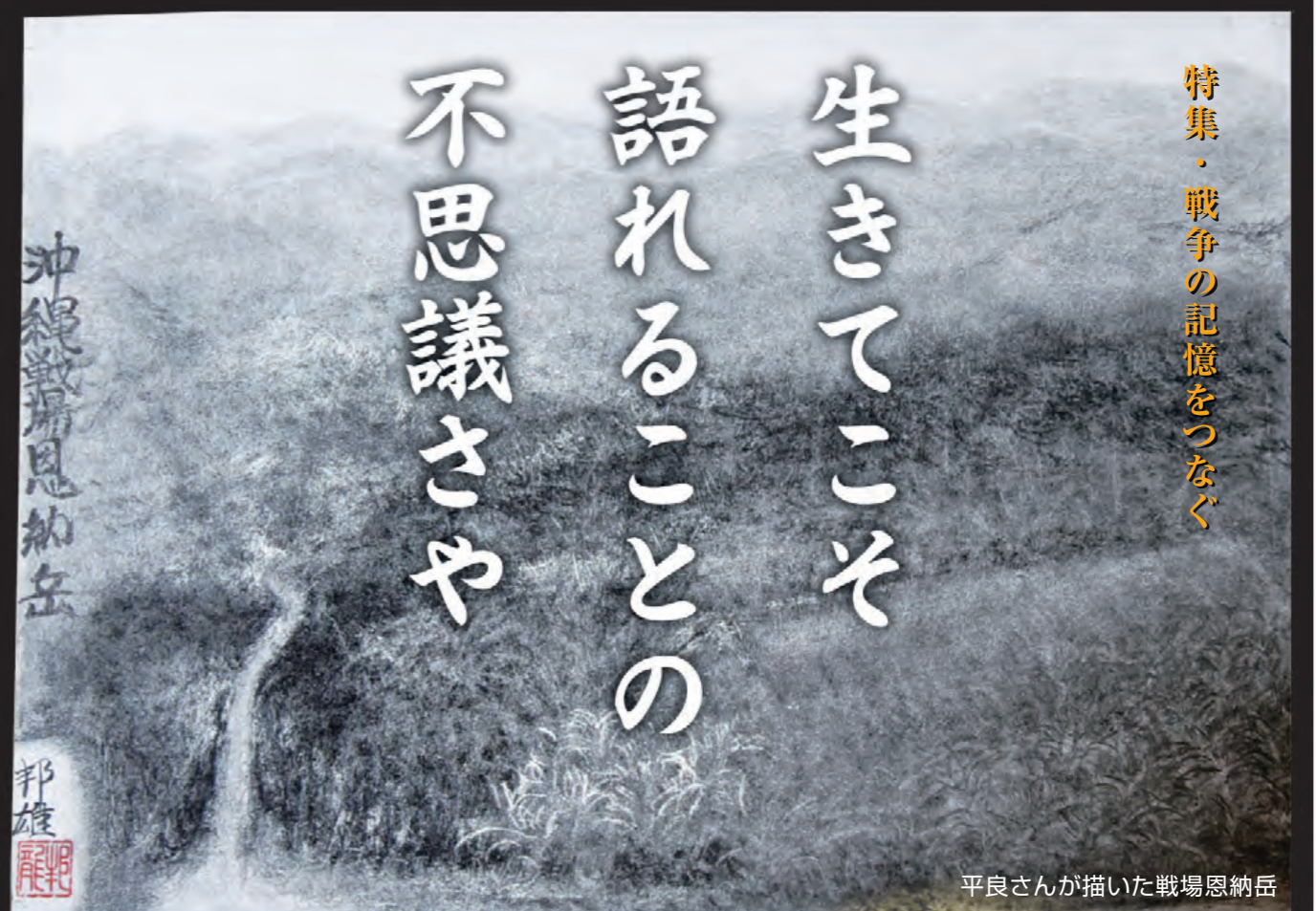
透かなる爪痕深し 恩納岳 年は弱冠 十六だった



脳裏に鮮明に焼き付いた記憶を語る平良さん

昨夜の友 今宵は屍土の墓 深夜の歩哨 悼みふるえる

平良さんが主に命じられた任務は、橋の爆破。道路を寸断し、米軍が北部に侵攻するのを食い止めるためだった。...

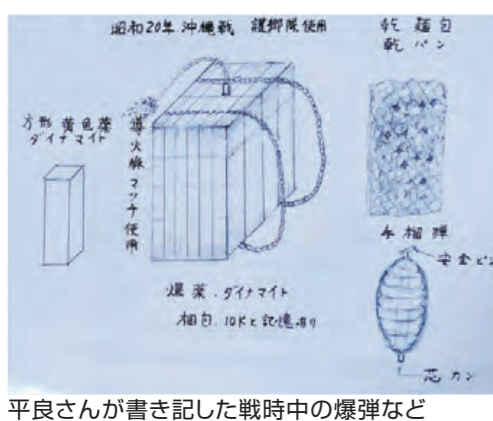


特集・戦争の記憶をつなぐ



沖縄戦前の平良さん一家 左が邦雄さん

戦争の記憶を短歌にしたため、後世につなごうとする人がいる。沖縄県に生まれた平良邦雄さん(90・妻田東)は、よわい16にして出動命令を受け、凄惨な戦場に駆り出された。...



平良さんが書き記した戦時中の爆弾など



終戦後に訪れたひめゆりの塔

糸満市 × 厚木市 平和のための展示会
平良さんの短歌をはじめ、市民の平和に対するメッセージや糸満市の戦争に関する資料などを展示します。
【日時】8月2~6日 10~17時
【場所】あつぎ市民交流プラザ
入場無料
ピースメッセージ展
糸満市の戦争記録展

生きてこそ語れること、不思議さや 知る人ぞ知る物知りねずみ
終戦後、平良さんは収容所での労働を強いられ、沖縄文教学校で学んだ。卒業後は、幾つかの職場を経験し結婚。厚木市に住み始めた。...

【用語解説】 鉄血勤皇隊 沖縄県で防衛招集された少年兵部隊。前線に送られ、多くの命が失われた。
護郷隊 15~17歳の少年を中心に組織された遊撃隊(ゲリラ)部隊。二つの部隊があり、平良さんは第二護郷隊に所属した。
歩哨 軍隊で警戒や監視の任務に当たる。
沖縄文教学校 昭和21(1946)年、戦後の教員不足の解消と人材育成を目指して開設された教育機関。師範(外語)学部と始まり、間もなく外語(漢字)部がそれぞれ独立。25(1950)年、琉球大学に吸収された。

戦時下の厚木 厚木市は空襲などには見舞われなかったものの、出征などで1500人余りが命を落としました。
戦没者追悼式 先の大戦で尊い命をささげられた英霊を追悼します。【日時】8月17日(金) 10時30分~11時40分
戦没者慰霊堂 市内の戦没者を悼み、1973(昭和48)年度に建立されました。【場所】飯山5464

タウンガイド

8月							9月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4							1
5	6	7	8	9	10	11	2	3	4	5	6	7	8
12	13	14	15	16	17	18	9	10	11	12	13	14	15
19	20	21	22	23	24	25	16	17	18	19	20	21	22
26	27	28	29	30	31		23	24	25	26	27	28	29
							30						

☑=申し込み ☎=問い合わせ
☎=電話番号 FAX=ファクス番号
✉=Eメール 🌐=市ホームページ
📍マイタウンクラブ
📍印の番号で、ウェブ上から詳しい情報を確認できます。「📍」と記されたものは、申し込みもできます。

夏休み親子リサイクル施設見学会

8月23日、9～17時。王禅寺エコ暮らし環境館(川崎市)、昭和電工(株)(川崎市)。環境に優しい暮らしを学べる施設とリサイクル工場を見学。市内在住在勤在学の小学生以上24人(小学生は保護者同伴。1組4人まで)。無料(昼食は各自負担)。☎電話またはハガキに〒住所、氏名、年齢(学年)、電話番号を書き、8月15日(必着)までに〒243-8511環境政策課☎225-2749へ。抽選。📍182400

なしぼどうもぎとり優待バス

8月28日、①10時～②13時30分～(雨天中止)。依知地区の農園でナシ・ブドウのもぎ取りを楽しむ。市内在住在勤の方各回20人。もぎ取り代は実費。☎往復ハガキに〒住所、氏名、電話番号、希望時間、人数を書き、8月17日(必着)までに〒243-0004水引2-9-2JAあつぎ本所指導販売部☎221-2273へ。抽選。

骨筋UP NO!ロコモ's キッチン

運動器の衰えが原因で、歩行などの日常生活に支障がある状態「ロコモティブシンドローム(ロコモ)」を予防する料理を学ぶ。ロコモの進行をチェックするテストを同時開催。

開催日	会場
8月 20日	厚木北公民館
28日	依知北公民館
30日	相川公民館
31日	森の里公民館
9月 3日	小鮎公民館
5日	荻野公民館
7日	玉川公民館
13日	厚木南公民館
19日	上荻野分館
21日	睦合北公民館
27日	依知南公民館
28日	睦合西公民館
10月 5日	緑ヶ丘公民館
10日	南毛利公民館
16日	愛甲公民館

いずれも時間は9時30分～14時。市内在住の20歳以上各回20人。300円(材料費)。☎8月1日から健康づくり課☎225-2201へ。先着順。

アミュあつぎハンドメイド&クラフトマルシェ

8月25日、10～16時。アミュあつぎ。約20店舗によるアクセサリや洋服、雑貨などの手作り品の販売、ワークショップなど。📍商業にぎわい課☎225-2834。

未来につながる遊びと健康心とからだの世代間交流

8月29日、10～12時。睦合西公民館。わらべ歌遊びと、体を整える日本古来の自彊術の体験。市内在住の方30人。無料。託児あり(未就学児10人。先着順)。☎8月1日から日本わらべうた協会・田村☎090-4123-0010へ。先着順。

歯と歯ぐきの健康相談

8月20日、9時～11時30分。保健福祉センター。歯科衛生士による歯磨きの指導や口の悩み相談。歯間ブラシとデンタルフロスをプレゼント。無料。☎当日直接会場へ。📍健康づくり課☎225-2201。

こどもえいがかい

8月17日、①11時～11時30分=「なかよしおばけ おばけの水たんけん」「まめうしのおとうさん」他②14時～15時30分=「おまえうまそうだな」。中央図書館。子ども向け映画の上映。3歳以上各回100人(幼児は保護者同伴)。無料。☎当日直接会場へ。📍中央図書館☎223-0033。

市立病院の奨学生・作業療法士を募集

①奨学生=《職種》看護師《試験日》9月30日《対象》看護師などの養成校に在籍する学生30人②作業療法士=《試験日》9月30日《対象》1989年4月2日以降生まれで、作業療法士の資格を持つ、または、2019年の国家試験で取得見込みの方若干名。

いずれも申し込みは、市立病院や市役所、本厚木・愛甲石田駅連絡所にある申込書(市立病院ホームページからダウンロード可)を直接また

は郵送で9月①18日②19日(消印有効)までに〒243-8588水引1-16-36病院総務課☎221-1570へ。

ごみ中間処理施設の都市計画法原案に関する説明会

都市計画法に基づく説明会などを実施します。

①説明会=8月23日、19～20時。依知南公民館②縦覧③公述申し出=8月21日～9月4日(土・日曜を除く)、8時30分～17時15分。都市計画課(縦覧は📍でも可)④公聴会の傍聴(③があった場合)=9月18日、19～20時。依知南公民館。☎①②④は当日直接会場へ。③は都市計画課にある申出書(📍からダウンロード可)を、直接または郵送で9月4日(必着)までに〒243-8511都市計画課☎225-2400へ。

玉川・細田川の新しい洪水浸水想定区域図を公表

県が新たな「洪水浸水想定区域図」を公表しました。河川の氾濫や河岸浸食の発生が想定される「家屋倒壊等氾濫想定区域」なども公表されています。詳しくは県ホームページまたは📍で確認してください。📍危機管理課☎225-2190。

児童扶養手当・特別児童扶養手当現況届の提出

現況届は、前年の所得や児童の養育状況などを確認するものです。受給している方は必ず届けてください。対象者には事前に通知します。提出期間は、児童扶養手当=8月1～31日、特別児童扶養手当=8月10日～9月11日。☎いずれも証書と印鑑を持ち、直接、子育て給付課☎225-2241へ。8月18・25日、8時30分～12時は土曜開庁のため受け付け可。

児童扶養手当制度が一部変更

2018年8月分(12月支給)から、①児童扶養手当の全部支給所得制限限度額の引き上げ②養育者と扶養義務者の所得に係る寡婦・寡夫控除のみなし適用③公共用地の取得に伴う土地代金や物件移転料などの控除一が変更になります。詳しくは📍を確認してください。📍子育て

給付課☎225-2241。

国民年金保険料の納め忘れはありませんか

日本年金機構では、保険料の納め忘れがある方に、民間の委託業者を通じて電話・文書・戸別訪問で納付を案内しています。詳しくは日本年金機構のホームページを確認してください。📍日本年金機構厚木年金事務所☎223-7171。

市役所本庁舎の免震工事

8月1日～2019年3月29日に工事を実施します。庁舎内や駐車場は利用できます。📍財産管理課☎225-2083。

あつぎマラソンの開催時期変更

荻野運動公園の工事に伴い、今年度は3月の開催を計画しています。📍スポーツ推進課☎225-2531。

みんなの声でつくるまち

《意見交換会》

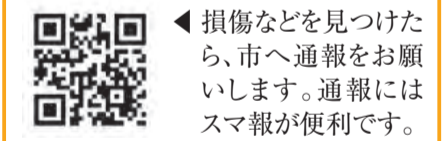
■固定資産税の特例措置「わがまち特例」に関する市税条例の一部改正 8月20日、19～20時。市役所本庁舎。☎当日直接会場へ。📍資産税課☎225-2031。

《パブリックコメント》

■市自殺対策計画(基本計画)策定《閲覧期間》8月1～31日《閲覧場所》健康づくり課、保健福祉センター、市政情報コーナー、公民館、本厚木・愛甲石田駅連絡所、中央図書館、あつぎ市民交流プラザ、📍《応募方法》閲覧場所にある用紙で確認。📍健康づくり課☎225-2201。

8月10日は「道の日」

私たち一人一人がルールやマナーを守り、安全で快適な道路にしましょう。



☎道路管理課☎225-2300 ※損傷情報は道路維持課☎225-2320

2018年度版 市民便利帳を発行

まちの魅力や市役所での手続きなど、暮らしに役立つ情報が満載の冊子です。広告掲載事業として作成しているため、市の費用負担はありません。

《配布時期》8月中旬に全戸配布
《規格》A4判 160頁
📍広報課☎225-2040



ホット インターネットモニターからの意見を紹介

いいメール Hot E-Mail

インターネットモニター募集中

厚木市 インターネットモニター 検索

📍広報課☎225-2043

7月1日号「広報あつぎ」を読んで

◆アユ釣りの写真に夏の訪れを感じた／20代女性◆電子看板による災害時の避難情報の発信に期待。本厚木駅南口や東口にも設置されたら便利だと思う／40代女性◆消防団員がどんな思いで活動しているか知れて身近に感じた／20代女性◆特集を読んで家族でワーク・ライフ・バランスを考えるきっかけになった／60代男性◆大好きな「あつぎ鮎まつり」の花火大会。今年は観覧席のチケットを購入しようと思った／40代男性

編集後記 糸満市と友好都市にならなければ、沖縄戦の特集を組むことはありませんでした。戦争の歴史は、誰もが学校で学びます。しかし、戦禍を生き抜いた平良さんの言葉は、自分が身近な場所で起きた悲惨な事実から目を背けてきたことを気付かせてくれました。話の中には、耳をふさぎたくなるものもありました。平和の尊さをかみしめる第一歩は、起きた事にしっかりと目を向けて知ることと心に留める取材になりました。橋本

第72回あつぎ 鮎まつり

8月4・5日

厚木の夏の風物詩「あつぎ鮎まつり」。今回の見どころをマップで紹介します。
 問合せ あつぎ鮎まつり実行委員会 ☎295-5496
 詳しくは [あつぎ鮎まつり](#) [検索](#)



大花火大会

19時～20時30分
MAP ①⑨⑩⑪⑫
 名物のスターメインや大ナイアガラなど、見どころ満載



アツギダンスレジェンド
① Atsugi Dance Legend MAP ①②③④



⑧ 小学生鮎つかみどり MAP ⑧



神奈川警察音楽隊
③ オープニングパフォーマンス&パレード MAP ③④

① ヒップホップやチャダンスなどさまざまなジャンルのダンスで競う⑧約2000匹のアユとの触れ合いを楽しむ
 ③祭りの始まりを告げるパレード。今年はスタート前に中央通りで沖縄の伝統舞踊エイサーを市内小学生が披露



花火を間近で観覧できる
 子どもが楽しめる遊具「フワフワパノラマ」が登場
 4日に、ステージでダンスや音楽ライブを実施
 通りの両側に所狭しと屋台が立ち並ぶ
 ゆったり花火を観覧したい方にお薦め
 駅前北口には当日限定のフォトスポットが登場

穴場 ① 花火大会第3会場
 穴場 ② 厚木公園
 穴場 ③ 厚木中央公園
 穴場 ④ 厚木駅前
 穴場 ⑤ 厚木一帯
 穴場 ⑥ アミューあつぎ
 穴場 ⑦ レブラントホテル厚木
 穴場 ⑧ 小学生鮎つかみどり
 穴場 ⑨ 花火大会第1会場
 穴場 ⑩ 花火大会海老名会場
 穴場 ⑪ 厚木駅前
 穴場 ⑫ 花火大会第2会場

★ フォトスポット
 ☆ インフォメーション
 定番 穴場 花火観覧のスポット

催し物スケジュール

日	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
4日												
5日												

※催しの開催時間は、会場によって異なる場合があります。冊や公式プログラムで確認ください。

祭りをもっと知りたい方へ

公式プログラムを配布

無料

イベントスケジュールや会場図、花火のプログラムなどを掲載。8月1日から観光案内所で、当日は各インフォメーションで配布します。



広告



糸満市 × 厚木市
 ▲8月4日に友好都市を締結する沖縄県糸満市をはじめ、北海道網走市、秋田県横手市の物産ブースがレブラントホテル厚木に登場。ホストタウン相手国・ニュージーランドのフェアも開催します **MAP ⑦**

▼約450の屋台の他、厚木名物のアユの塩焼きがなかちょう大通りで食べられます。アユ本来の味と香りが楽しめる一品は食べ歩きにぴったりです **MAP ⑬**



祭りをもっと楽しむ注目ポイント

入場無料

▲アミューあつぎでは「ロボット体験ゾーン」を開催。話したり踊ったり、自由自在に動くロボットの姿をお楽しみに **MAP ⑥**



ATSUGI THE FIRST IN JAZZ SINCE 2010
2018 JAZZ NIGHT

JAZZ ATSUGI NIGHT

あつぎジャズナイト 2018
 8月23・24日 15～21時

世界で活躍するアーティストや市内で活動するバンドの生演奏が楽しめる「あつぎジャズナイト」を今年も開催。地ビールやご当地グルメを味わいながら甘美なひとときを過ごしませんか。





厚木公園
本厚木駅

☎ 商業にぎわい課 ☎ 225-2840

23日・神奈川工科大学・北里大学・LOCO ALOHA・Jimmy & Holio
ジェイアンドケー
 ・J&K (梶原順&安達久美) with 高嶋桜子・nicaトリオ・Calmera ほか
ニカ
24日・東京農業大学・東海大学・専修大学・佐々木秀尚 Group・Shiho (元 Fried Pride)
ひでりさ グループ シホ フライド フライド
 ・日産B&Sジャズオーケストラ・在日米陸軍軍楽隊 ほか

あつぎ 元気Wave

ジャズの楽しみ方を紹介 ケーブルTV 8/1～

連載 25周年

自然歳時記

● コサギ ●
サギ科

全長 61 ㌢ほどの大きさ。くちばしと足は黒く、黄色い指がよく目立つ。川や水田で水生昆虫やザリガニ、魚などを採餌する。玉川、ツルヨシの茂る澄みきった水辺で見つけた。 写真・文/ 吉田文雄



川縁から吹く風は涼しく、多くの人々がウォーキングをしていた。ツルヨシの浄化作用で澄みきった水に、ハグロトンボの姿が映り、見飽きることはない。いつ現れたのかコサギがチラッとこちらを見た。静かな水面にコサギの歩きとともに波紋が広がった。コサギは、左足を震わせ水底にい

る生き物を探索していたが、急に動きを止め奥の方を見つめると、素早く魚を捕った。魚はドジョウで、くちばしに巻き付き暴れていたが、次第に静かになった。口に付いたぬめりを洗うため、水に付けた途端ドジョウは逃げてしまった。コサギもドジョウも今日の出来事を教訓とし、忘れることはないだろう。

厚木市の人口 (7月1日現在) **世帯数** 9万9141世帯 (前月比127世帯増) **人口** 22万5314人 (前月比4人減) 男11万6535人・女10万8779人